



大島くるみ病院便り



厚労省は65歳以上の高齢者がピークを迎える2030年に高齢者の認知症患者が523万人に上るとの見通しを公表しました。長寿化で誰もが認知症となるリスクをはらんでいます。最大の課題は介護人材の確保です。数年前から国内の介護人材を補うために在留資格が「特定技能」の外国人が働ける制度がスタートしました。当院もフィリピンから昨年5月に3人、12月に2人の女性が入職し、毎日介護の仕事を頑張ってくれています。今は、記録的な円安で色々と大変だと思いますが、いずれは介護福祉士の資格を取得し長く活躍してくれることを願っています。

在宅での危険予防 ～身近な危険を知って安心な毎日を～

今回は実際に家庭内でおきた事故について紹介します。

<居室・台所>

過ごす時間が長いので、家庭内事故発生率が最も高くなっています。

- ・電気コードをまたごうとして転倒。
- ・部屋と部屋の境目やカーペットのめくれ部分でつまづいたり、転びそうになる。
- ・台所の床は濡れているとが多く、滑って転びやすい。



<廊下・階段>

- ・夜トイレに行くときに、置きっぱなしの荷物に気づかず、つまづいて転倒。
- ・階段の幅が狭く、足を踏み外しやすい。



<玄関>

- ・上り框のつまづき、靴の脱ぎはき、濡れた床で転びそうになる。

<トイレ>

- ・扉の開閉時や手すり位置が悪いことでふらついたり、立ち上がりにくくなる。

<浴室>

・浴室内や浴槽内のすべりやすさの他に、着替える際の転倒や浴槽で意識を失うなど危険の多い場所です。

～手軽に行える工夫として～

- ・カーペットやマットのめくれには吸着テープを貼る。
- ・すべり止めつきの靴下を履く。
- ・階段のふちに明るい色のマーキングをする。
- ・手すりを正しい位置につける。
- ・椅子に座って動作を行う。
- ・人感センサーがついた照明などを設置する。(コンセントで差し込むタイプなど)



外出先だけではなく、日ごろ過ごしている自宅の中にも、転倒の危険性は常に隠れています。日ごろから整理整頓、清掃などを心がけて、安全に過ごせるようにしましょう。

【担当：リハビリ】

おはぎ作りました

ショートステイでは、お彼岸に合わせて3月20日におはぎ作りをしました。各自であんこやゴマ、きな粉をつけて美味しく頂きました。



介護学習研修



介護学習委員ではボディメカニクスとボードを利用した移動介助の介護学習研修を行いました。職員も患者様も怪我の無い安全で安楽な移乗介護を目指します。
日時：3月7日・8日
場所：会議室

お花見に行ってきました

春の陽気に誘われて4月上旬に花見ドライブに行ってきました。薬勝寺池や吉久、古城公園など桜の名所を巡ってきました。



獅子舞がやってきた

4月6日(土)北野地区、13日(土)若杉地区から毎年恒例の獅子舞がやってきました。みなさん大喜びでした。



お誕生日おめでとうございます！



馬淵 桂雲 様 93 歳	飴井 静子 様 84 歳
福岡 禮子 様 93 歳	磯部 和夫 様 83 歳
片口 百々代様 94 歳	北田 逸子 様 94 歳
野口 鈴子 様 85 歳	谷川 ハル子様 91 歳
朴木 百合子様 97 歳	
宮腰 富子 様 97 歳	



奥村 キエ 様 86 歳	宮村 正宏 様 83 歳
定田 咲子 様 86 歳	鈴木 米子 様 72 歳
高橋 浩三 様 87 歳	石井 幸子 様 97 歳
梅野 まつい様 97 歳	杉本 英光 様 79 歳
佐野 朗 様 90 歳	廣瀬 和子 様 87 歳
八木 美保子様 75 歳	

デイケア・ショートケアの利用者さんのお誕生日も掲載しています

☆編集後記☆

新年度もひと月経ち、新しい環境で疲れも出てくる頃では？ ストレスがあっても、いい事を増やしていけば良いそうです。その一つに『笑い』が良いといわれ、形だけで笑うだけでも効果はあるそうです。口角を上げる事から始めてみよう思います。(K)

基本理念

患者さんの生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。
信頼と安心の施設・在宅支援サービス及び患者さんに寄り添う終末期医療を提供します。
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。
職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。

令和3年2月8日改定

運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々への自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます。